

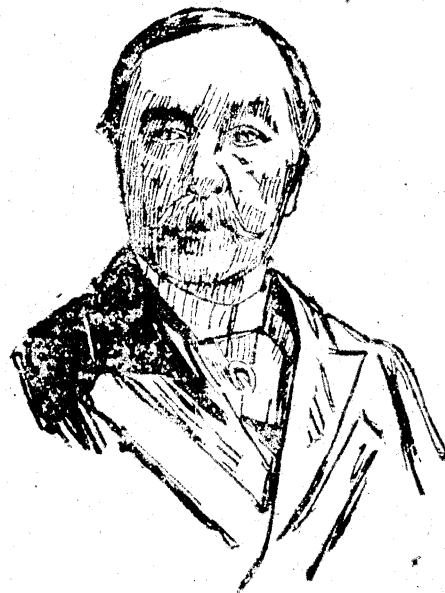
社説

臺灣の警察

臺灣に於ては土匪の騷擾頻々なるが爲めに或は其難治を云ふものあれども元來彼の土匪は一種の無賴漢、固より政治上の懸念あるに非ず云々

成らずとは堪へ難き次第なりと云ふ可し來年まで待つとの出来得るものならんには待つも差支なしと雖も

○西班牙、葡萄牙との條約改正
本邦と西班牙、葡萄牙二箇國との條約改正は遠からず着手の筈なるが西班牙の方は伊太利駐劄公使葉野



故露國外務大臣ロバノフ公

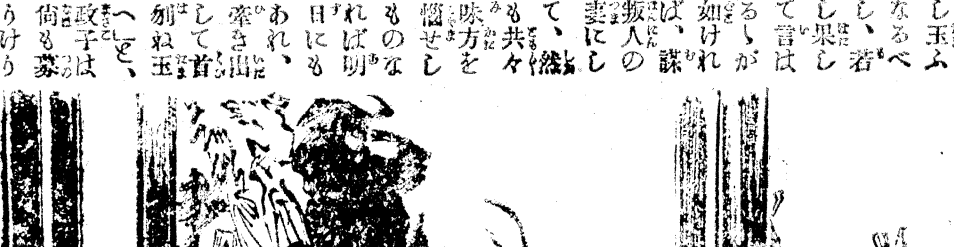
○條約改正の完結期
本邦と各締結國との條約改正は既に其大半を成就して或は批准交換を了りたるあり或は調印を終りたるあり

ト將軍が大統領の職に在りし節、丁抹は該島を五百萬弗にて米國へ賣渡さんみと申込みにし將軍も買受くるを利なりと略ぼ相談せりしが國會は之を否決せしを以て終に破綻となりたり

女武者

わかば

第六回 團の死闘
鐵倉殿の大奥には鐵中政子の前、古今の賢女に御在せしを、女心の嫉妬深く滾らせ玉へば、右幕下が巴を召し玉ひたる事を、見なる北條義時より傳へ開きて快



「オウ御身に告げずとければ、今日迄打ちも受くみし女にて、開ゆる勇將をばどて、必ず心を許すべしと、物に謀叛を企てんを成るべきにぞ、密に和四郎